農業革新支援センター情報

要　件		ホームページ掲載		書庫掲載		部　門	作　物
緊急	○一般	○可	不可	○農家可	農家不可	病害虫	果樹

情報第２８２号
令和８年（２０２６年）４月１４日

各広域本部農林（水産）部　農業普及・振興課長
各広域本部地域振興局農林部　農業普及・振興課長
農林水産部農産園芸課長
農業研究センター・各研究所長
各市町村長
熊本県経済農業協同組合連合会長
各地域農業協同組合組合長
様

課題名	強風後のカンキツかいよう病及びナシ黒星病の防除について	担当者	熊本県農業技術課 農業革新支援センター 児玉・川端 TEL096-333-2429

県内のカンキツは、発芽を終え、これから開花期を迎えます。一方、ナシは開花期～幼果期の状態にあります。

４月 10 日には、明け方に県内各地で雨を伴った風が吹き、観測地点の半数で 10m/s 以上の強い風が観測されています。

さらに、今後１週間程度は、以下のとおり、天気が周期的に変化することが予想され、病害が感染しやすい気象条件が継続すると考えられます。

○今後１週間の天気予報（熊本県）

日付	今日 13日(月)	明日 14日(火)	明後日 15日(水)	16日(木)	17日(金)	18日(土)	19日(日)	20日(月)
熊本県	曇後一時雨	曇後雨	雨後曇	曇時々晴	曇一時雨	曇一時雨	曇時々晴	晴時々曇
降水確率(%)	-/-/30/50	30/30/50/70	80	30	50	60	30	20
信頼度	-	-	-	B	C	C	A	A
熊本 最低/最高(℃)	- / 22	16 / 24	17 / 23	15 / 27	15 / 24	16 / 25	15 / 26	14 / 27

出典：気象庁ホームページ（https://www.jma.go.jp/bousai）

つきましては、カンキツかいよう病及びナシ黒星病について、下記の防除ポイントを参考に、防除が徹底されるよう、御指導をよろしくお願いします。

記

１．カンキツかいよう病の防除のポイント

病原菌（細菌）は、雨滴やその飛沫で伝ぱし、強風（風速毎秒６ｍ以上）によって葉や果実に傷ができると、病原菌が侵入し易くなる。そのため、予防に重点を置く。

（１）薬剤散布は、強風前の予防が基本であるが、強風後であっても感染拡大を防ぐために、降雨の合間に防除を行う。特に、３月中下旬の発芽前に防除を行っていない場合は、必ず実施する。

（２）銅剤の使用にあたっては、葉・果実の薬害を軽減するため、炭酸カルシウム剤を加用する（製品に含有しているものを除く）。

２．ナシ黒星病の防除のポイント

本病において、開花直前から開花２週間までが重要な防除時期であるため、以下の防除対策を実施する。

（１）降雨の合間に確実に防除を行う。

（２）主要な防除薬剤であるＤＭＩ系（ＦＲＡＣコード：３）、ＱｏＩ系（ＦＲＡＣコード：１１）、ＳＤＨＩ系（ＦＲＡＣコード：７）及びイプフルフェノキン剤（ＦＲＡＣコード：５２）は連用、多用による薬剤耐性菌の発生リスクが高い。そのため、これらの薬剤の年間使用回数はＱｏＩ系で２回、ＤＭＩ系で２回、ＳＤＨＩ系で２回、イプフルフェノキン剤で１回を基本とし、同一系統薬剤の連用も避ける。なお、県内においては、ＤＭＩ剤であるフェナリモル（ルビゲン水和剤）の感受性低下が確認されている。

熊本県農業革新支援センター

＊熊本県農業情報サイト「アグリくまもと」のメルマガ登録することで、農業革新支援センター情報を迅速に受け取ることができます。

【登録用アドレス】https://agri-kumamoto.jp/

登録用
QR コード→